

講演者・発表者との対話の時間

～地域探究を通じた生きる力の育成と関係人口の創出・拡大へ～



令和7年11月21日

一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構 花垣紀之
(内閣府・地域活性化伝道師)

I. 学校に係るご質問

【質問者: 中学校の教頭】

本校では独自のプログラムをまだ構築できていません。
どういう視点で、どれくらいの期間を見据えて計画を
立てていくものなのでしょうか？

【質問者：小学校の教諭】

受入地域との交流を深めていくためには、
どのようなことから進めていけばよろしいのでしょうか？

【質問者：高校の管理職】

地域探究の活動が、単なるイベントで終わるか、
キャリア形成につながる活動にできるのか、
その違いやかなえるコツは何であると思いますか？

【県教育委員会指導主事】

児童生徒の成長に直結するねらいを持った活動であると思いますが、どのような成果を見られたのかお聞きしたいです。

参考:教育旅行民泊(ふるさとホームステイ)の活動

1日目



- 受入地域の会場に到着
- 入村式／受入先の家族と対面
- それぞれの受入先へ移動



- 受入先での生活体験
 - 家事や家業のお手伝い
 - 地域の作業のお手伝い など



- 夕食づくり／交流
- 入浴／就寝

2日目



- 起床
- 朝食づくり
- 受入先での生活体験／荷造り



- 分泊の終了
- 受入地域の会場に到着

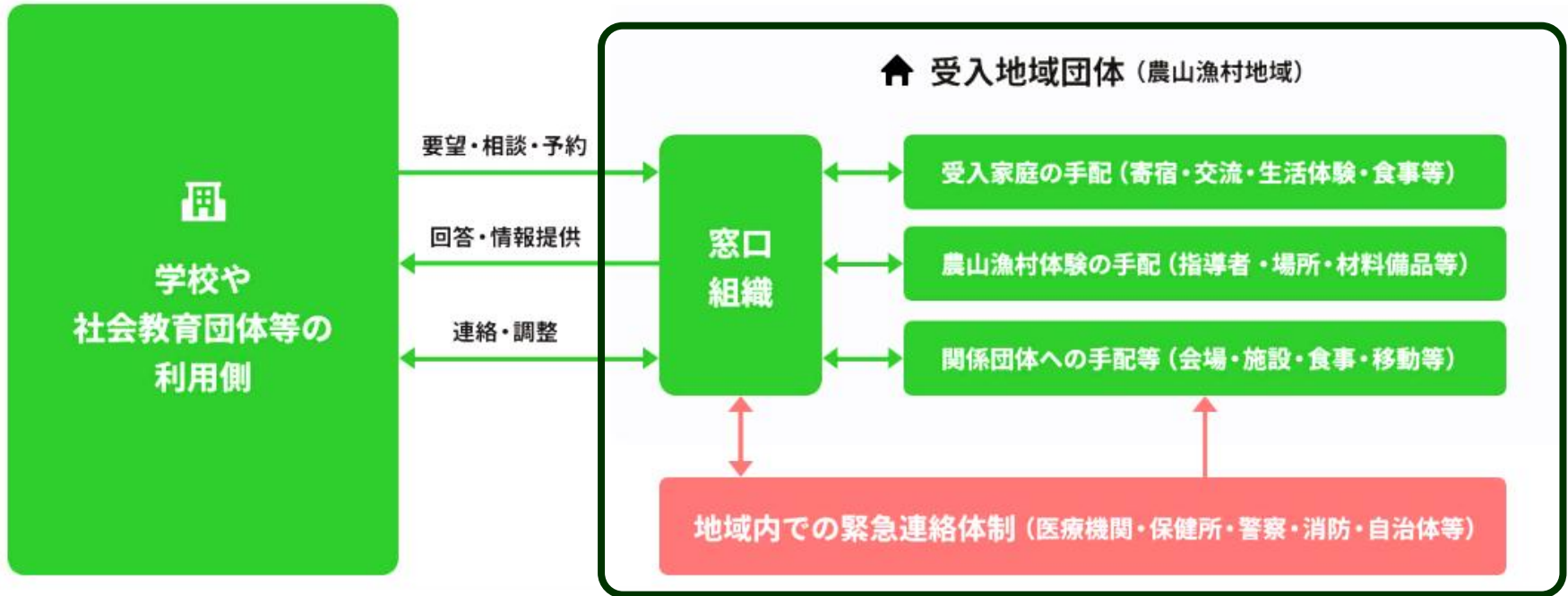


- 離村式の開催
- 受入地域の会場を出発

教育旅行民泊(ふるさとホームステイ)の受入地域体制

【受入地域団体とは】

各農山漁村地域（地区～広域市町村の範囲）の中で、受入家庭（ホームステイ先）や農山漁村体験等の受付・手配・当日準備・精算等を一元的に行い、各受入家庭や地域内の関係機関等との連携による緊急連絡体制を設けられる組織です。



【参考:ふるさとホームステイの受入地域団体の検索サイト】

子供の農山漁村体験支援サイト(内閣官房)

URL <https://furusato.jp/>

“ふるさと”



多田様が代表 を務める受入 地域団体

教育旅行民泊を全国から簡単に検索
子供の農山漁村体験支援サイト

ホーム 受入地域団体検索 取組事例 支援人材 お知らせ お問い合わせ

ホーム > 受入地域団体検索 > (一社) 春蘭の里

石川県能登町
(一社) 春蘭の里
イッパンシャダンホウジンシュンランノサト

宿泊定員 ホームステイ(分泊) / 350人(近隣地域への追加手配時/該当なし)
集団宿泊(青少年教育施設・ホテル・旅館等) / 40人、日帰り可

窓口組織 (一社) 春蘭の里

石川県鳳珠郡能登町宮地16-9 ☎ 0768-76-0021
☎ <http://shunran.info/>

窓口に問い合わせる




近江様が設立 ・運営に関わ っている受入 地域団体

教育旅行民泊を全国から簡単に検索
子供の農山漁村体験支援サイト

ホーム 受入地域団体検索 取組事例 支援人材 お知らせ お問い合わせ

ホーム > 受入地域団体検索 > (特非) 食の絆を育む会

北海道浦幌町
(特非) 食の絆を育む会
トクテイカツドウホウジンショクノキズナヲハグクムカイ

宿泊定員 ホームステイ(分泊) / 要相談(近隣地域への追加手配時/要相談)
集団宿泊(青少年教育施設・ホテル・旅館等) / 該当なし

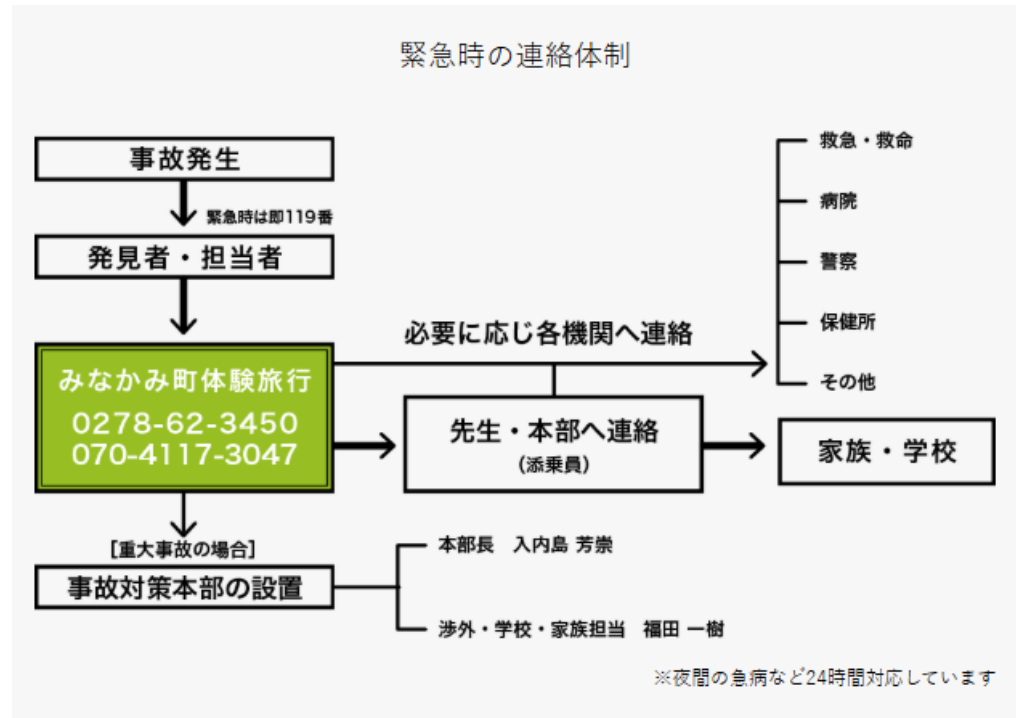
窓口組織 (特非) 食の絆を育む会

北海道十勝郡浦幌町宝町53-26 ☎ 015-578-7955
☎ <https://www.shokuhug.com/>

窓口に問い合わせる

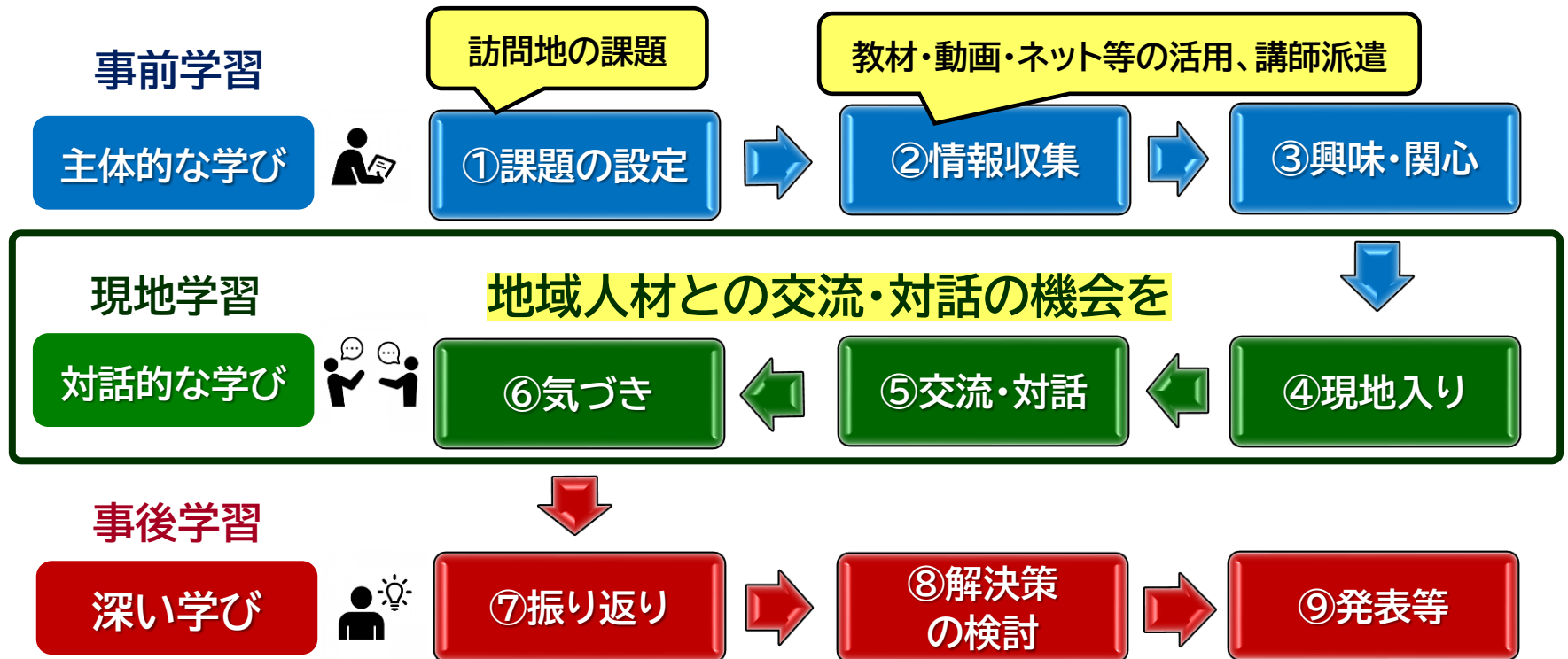



各受入地域団体による安全管理体制の整備



画像：(一社)みなかみ町体験旅行の公式サイト

学校教育旅行と関連づけた探究的な学習の展開(概要)



Ⅱ. 受入地域に係るご質問

【質問者：地域おこし協力隊、学生】

子供達を受け入れると地域にどのような効果が出るのか？

【質問者：地域おこし協力隊】

子供達を受け入れてみて実際に困ったことはありますか？

【質問者：受入地域団体事務局長】

**学校の要望などをコーディネートする受入側の団体が
持続的に経営していけるようにするためにはどうした
らいいのか？**

参考資料：農泊“教育旅行”受入手引き



【目次】

I 農山漁村地域で「教育旅行」の受け入れを勧めるねらい

1. 「農泊」とは P03
2. 「教育旅行」とは P04
3. 農泊地域に「教育旅行の受け入れ」を勧める理由 P06

II 基本編 これから受入体制の整備を進めたい地域・団体向け —これから教育旅行の受入体制の整備を進めるには？—

1. 地域内合意の形成 P09
2. 地域ぐるみによる受入体制の整備（窓口の設置／地域内での手配等） P09
3. 地域内で依頼できる「受入先・現地活動先」の開拓・確保 P10
4. 「関係機関との緊急連絡体制」の整備 P10
5. 受入先・現地活動の運営者等を対象にした説明・講習の開催 P13
6. コーディネーターによる送り側の伴走支援（企画段階から実施後まで） P14

III 応用編 既に受け入れている地域・団体向け —既存の受入地域にみられる10の課題と対策の傾向—

- 課題1：「教育旅行民泊の受入家庭の軒数の確保・維持」が困難になってきた P16
- 課題2：「教育旅行民泊」による受け入れができない P22
- 課題3：「ホテル・旅館」が受け入れてくれない P22
- 課題4：「大規模校の受入体制の整備」が見込めない P23
- 課題5：「学校ごとに特色のある提案」をすることができない P24
- 課題6：「送り側向けの媒体」の内容が充実していない P25
- 課題7：「探究的な学習」に係る現地学習の受入方がわからない P26
- 課題8：送り側に対して積極的なプロモーションが図れていない P31
- 課題9：現状のままでは「受入地域団体」を持続的に経営することが難しい P32
- 課題10：「受入地域の自治体」に期待される役割が分からない P36



上のQRコードから
ダウンロードできます。

出典：農泊旅行博・商談会運営事務局(株)JTB内)

【お問い合わせ先】(一財)都市農山漁村交流活性化機構 花垣 紀之
(内閣府「地域活性化伝道師」登録者)

Mail hanagaki@kouryu.or.jp

参加申込者からいただいたご意見(一部)

企業の役員	今後のAIの普及などを考慮し、自然体験、食料の作り方、家の建て方、人間関係など、生きる力を義務教育として教えるべきと考えています。
絵本作家	国内外で大変な思いをしている子供たちがいます。私たちができそうな小さな支援を続けてゆきたいです。
国立大学 所属の方	農山漁村の「学校」と都市の「学校」が交流し、子ども同士で教え合うことによって地域への愛着を醸成でき、友達がいるから実際にまた来たいと思ったり、将来の関係人口の創出にもつながるのではないかと考えています。

学校による地域探究を通じた近未来につながる展開

学校・子供達が訪れること＝地域活性化・地域貢献

①地域目標の設定(課題解決等)

課題解決

④担い手の育成・定住促進
(持続的な取組み)

地域
合意
形成



社会的
活性化



経済
波及
効果

②地域内での受入体制の整備
(住民参画・組織化・安全管理等)

実践

③子供達の受け入れ
(楽しさ・自信・対価・地域貢献等)

成長
理解
共感

生きる力の育成
関係人口の創出・拡大

関心
貢献
参入

訪問地域等の理解・関心(“肌感覚”の獲得等)
訪問地域との縁・絆(心のふるさとづくり)

近い将来

再訪・再会・観光
訪問地域等の応援
移住・定住等

参加した子供達(児童・生徒)